



往生山だより

令和3年 10月 19日

NO.12

文責 校長 五十嵐

広がる 友達の輪！(入小・上小交流事業②)



1学期に続いて、10月11日と13日には2回目の「入小・上小交流事業」を実施しました。今回は、ブロックごとの交流でしたが、2回目の今回は各学年ごとに交流しました。

前回の交流でも「楽しかった！」「また、やりたい！」という感想が多く聞かれましたが、今回の交流では、上小の子供達とのコミュニケーションも密になり、ニコニコ笑顔溢れる和やかな交流会になりました。感染症対策をとりながら、主に体育館や校庭で体育的活動の交流でしたが、爽やかな汗を流し、お互いをさらに深く理解する交流になったと思います。こういった交流を継続していくことにより、さらに絆が深まり「ふるさと遠野町」への愛着・愛情がより高まることを期待したいと思います。



6年生交流：じゃんけん関所やぶり

見て、聞いて、触れて。



10月は見学学習や「おでかけアリオス」等、教科の校外学習や実際に見たり、聞いたり、触れたりする学習の充実を図っています。「体験学習」と呼ばれる活動ですが、その学習効果には大きなものがあります。時に教科書で学んだ内容の確認をしたり、学習の導入の動機付けになったり…、実践すると子供達の興味や関心の高さが違います。

現在は、インターネットで多くの情報が得られるようになっています。また、感染症への不安もあり、校外に出る回数も限られますが、今後も、大きな成果が期待できる「見て、聞いて、触れて、考える活動」(体験学習)を子供達の深い学びのために工夫していきたいと思っています。



1・2年 アクアマリン見学



3・4年 ぐらしの伝承郷見学



5年 日産工場見学

会津の文化に触れる。

5・6年生は、10月15日に修学旅行で会津若松市を訪れました。修学旅行のメインの活動は「班別グループ活動」です。子供達は事前準備として、訪問する施設や昼食場所の選定、効率のよい移動の方法、お金の使い方、緊急時の対応等をグループの友達と一緒に話し合い、また、訪問先に事前に電話予約するなどして準備を進めてきました。そういった中で、対応して下さった訪問先の方々の温かさに触れたり、話し合っていく中で友達の新たな良さに気づいたりすることができました。また、自分たちで意思疎通しながら活動を決定していくことで、自治的な力も身につけることができました。

当日は、素晴らしい天候のもと、会津の歴史・文化に触れながら、自らの見聞をさらに広げ、また、他の地域を詳しく理解することで、「故郷いわき」や「故郷遠野町」のよさを改めて感じる契機にもなりました。

今後は、入遠野小学校の高学年として、この修学旅行で身につけた力を、自分のため、学校のために発揮できるように支援していきたいと思っています。



準備や健康観察等へのご協力ありがとうございました。